

【（公財）東京都都市づくり公社】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

自ら企画し、提案する、都市づくりの総合支援を担う高度専門家集団

重要課題
①

安全で快適なまちの実現のため、土地区画整理事業等を通じた各自治体の「集約型の地域構造」への再編や、区部の防災性向上等に向けての支援をいかに進めていくか

検討の状況や今後の方向性

- 「集約型の地域構造」への再編に向けて、地域の特性や住民の意見を踏まえた整備手法の提案を自治体に行っていく。また、緑豊かな環境の形成のため、都市農地の課題に着目した新たな事業展開を検討する。
- 区部の防災性向上等に向けて、木密地域の老朽住宅等の共同建替えによる集約化や、用地買収した残地の公園等への活用により、道路整備と一体的に進める沿道まちづくりを推進する。さらに、これまで培った技術を活用し、無電柱化を推進していく。
- 安全で快適なまちの実現のため、都市づくりに関する様々なノウハウを活かし、自治体ニーズを踏まえた企画提案を行うアドバイザーやシンクタンクとしての役割を目指す。

【（公財）東京都都市づくり公社】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	人口減少社会の到来とともに生じる東京のまちづくりに関する課題の解決
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 都市の老朽化を予防するため、公社若手職員及び管理職が、首都大学東京や自治体職員と連携して、<u>老朽住宅等の再生モデルや先進事例の研究</u>に取り組み、その過程で培われた人脈も活かして、<u>自治体と共に新しい成長戦略を描いていく</u>。○ また、都市の再生を目指し、環境の悪化や地域活力の衰退、防災力の低下などの要因となる、<u>空き家・空き地問題の解決に向けた研究</u>にも取り組んでいく。○ 都市と自然との共生に向けて、<u>自治体や企業がグリーンインフラの促進</u>に取り組めるよう、公社として支援を検討していく。